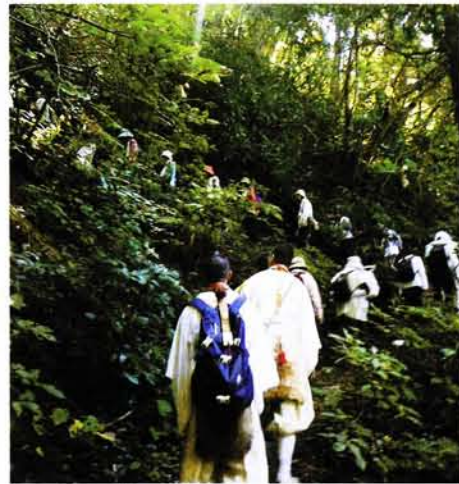




各所のお大師様をお参りする



無事に大本坊へ到着した参加の皆様



道中は掛け念仏を唱え険しい山道を行く

高尾山内八十八大師巡り

去る十月十三日、高尾山内八十八大師巡りが行われ、二十九名の方々が参加された。

清滝周辺のお大師様から始まり、蛇滝方面へ進み、「南無大師 遍照金剛」と掛け念仏を行いながら険しい坂道の道中を山上まで徒歩練行し、道中の各お大師様に法薬をあげた。
山上にて御護摩修行に参加された後に、一号路のお大師様を山麓まで徒歩にて巡拝し、無事に不動院に到着した。



熱禱する大山御貫首



お釈迦様へ甘茶を灌ぐ

高尾山秋季大祭 厳修

子供達の健やかな成長を願う

十月十七日(土)



「元気に過ごせますように…」と、御加持を授かる



有喜苑において柴燈大護摩供が厳修される



大本堂にて御詠歌が奉唱される

高尾山の昆虫

コガネムシ(ナミコガネ)

73



黄金虫は金持ちだ、金蔵建てた蔵建てた〜と童謡で親しまれているコガネムシ。コガネムシはクワガタムシ科、コブスジコガネ科等を含むコガネムシ上科の総称であり、その中のコガネムシ科の中にはハナムグリやカブトムシ、ダイコクコガネらの仲間が知られます。紛らわしいことにコガネムシ科の中にコガネムシという品種がいて、区別するために便宜上ナミコガネとも呼ばれます。
このコガネムシことナミコガネは全身に強い金属光沢を帯び、黄金虫の名に恥じません。一般的には濃い緑色に赤が混ざる色彩が多いですが、緑一色や真紅の個体、稀に青藍や黒紫のタイプまで現れます。
河川敷の付近でよく見られ、高尾では山麓のノイバラやイタドリ等の葉を後食している多数の姿を見かけています。
走光性が強い種ですが、ケーブルの山頂駅周辺の灯火では不思議に見かけたことがあります。似た種にヒメコガネがありますが、より大きくメタリックさで優るナミコガネこそが、やはりコガネムシの名に相応しいと思います。

(撮影・文 松島 孝)